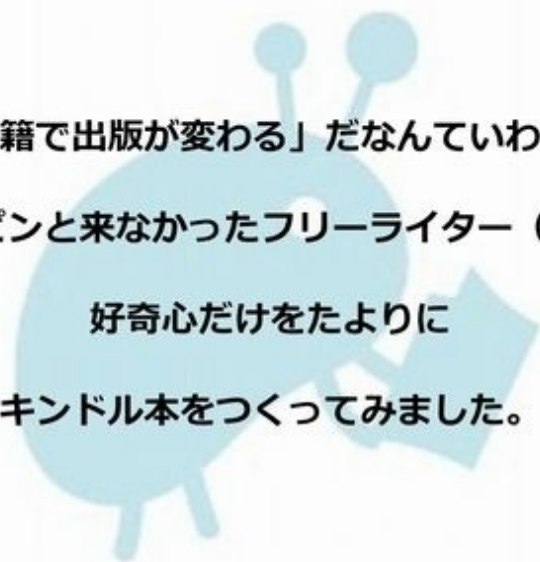


# 『Kindleで本、出してみたよ』

無料サンプルバージョン

古田靖（カナカナ書房）



「電子書籍で出版が変わる」だなんていわれても、  
いまいちピンと来なかったフリーライター（40歳）が  
好奇心だけをたよりに  
Kindle本をつくってみました。

KANAKANA BOOKS

「電子書籍で出版が変わる」

だなんていわれても、

いまいちピンと来なかったフリーライター（40歳）が  
好奇心だけをたよりにキンドル本をつくってみました。

やってみたら分かったこと

ついでに生まれた電書のインディーレーベルのこと  
など

3万字弱にまとめた電書です。

今回ひそかに考案した

「速読ができないひとでも、なぜか高速で飛ぶように読める文体」

で構成しているので、

（あなたならきっと）一気読みできます。

## 目次とあらすじ その1

---

### 『キンドルで本、出してみたよ』目次とあらすじ

#### 1、やらなくちゃわからない

ぼく（古田靖）はライターをやっております。これまで「アホウドリの糞でできた国」とか「噂の真相」とか「大人の科学」とか「おとなの特選街」だとか、いろいろなところに文章を書いて、ごはんを食べてきました。そんなぼくの前に突如立ち上がったキンドル。「いずれは付き合わなくちゃいけないけど、どんなヤツなのか得体が知れない無口な転校生FROMアメリカ」だと思いました。だったら話しかけてやろうじゃないか。

#### 2、「Publish」ボタンを押してみたい

キンドルで本を出す方法を調べたところ、**Pub**なんちゃら、と書かれたボタンを押せばいいらしい。おりゃと押してみましたが「いきなりはダメ」とのつれない返事。

#### 3、ひとを集めよう

**Pub**なんちゃらボタンを押せるようにするため、ぼくにできないことのできる仲間を集めました。ところがここで重大なことに気付いてしまいます。本を出すのはいいけれど、何の本を出すのかが決まっていなかったのです。でも面倒なのは嫌。

#### 4、条件をクリアできる企画とは

キンドル君の好みに合いそうな、それでいてできるだけカンタンそうな企画を考えました。思いつきました。

#### 5、キンドル本をつくってみる

みんなでトンテン、カンテン、キンドルで本をつくってみました。実際につくってみる電書は本のようで、本でない。でも、やっぱり本である。やっていくうちに、本という概念とジャンルの壁がドロドロと溶けていくようなことが起こります。

## 目次とあらすじ その2

---

### 6、電子書籍のインディーレーベル

ふと気づいたら、カナカナ書房という電書のインディーレーベルをつくっていました。合言葉は「一人1レーベル」です！

### 7、表紙をつくる

本の顔は、なんといっても表紙です。その撮影モデルに奇跡のハーフ美少女が登場。じっと見つめられたら、ごめんなさいというキモチになってしまいました。本編には写真もありますよ。

### 8、電子書籍のワークフロー

電書づくりは、紙の本とはやっぱり違います。そのために今後考えておくべきことなどをちょっとだけマジメにまとめてみました。

### 9、キンドル本出版はホントにカンタンだった！

5月17日午後7時20分、念願だった**Pub**なんちゃらボタンを押しました。そしたらホントに世界百力国以上で買えるようになっていました。

### 10、出してからのこと

#### 11、最後に

#### 12、あしがき

#### 13、おまけ

その後の売り上げ、価格、印税、宣伝のことなど、具体的な数字を出して書いてみました。一言でいうと「電書は儲からないってホントだったんですね」という感じ。でも、採算とれるようなやり方はあると思いましたよ。なにより、電書は楽しいです。

## 著者・編集者紹介

---

### ●著者紹介

古田靖（ふるたやすし）ライター。1969年愛知県生まれ。

#### 紙の著書

「アホウドリの糞でできた国 ナウル共和国物語」（寄藤文平共著 アспект）

「アスリートが育つ食卓」（アспект）

「瀬川晶司はなぜプロ棋士になれたのか」（河出書房新社）

「ブルー・オーシャン戦略を使いこなす」（TAC出版）

「『アイデア』が生まれる人脈」（青山出版）

「劇的ニッポン！30秒で読める号外ニュース」（青山出版）

「新企画は宇宙旅行」（TAC出版）

#### 電子の著書

「Kanji Crossing:wearing Kanji style in your life」

（共著・カナカナ書房・amazon）

「小麦粉発酵ベーグル指南書」（カナカナ書房・パプー）

●編集 田中モトヒロ

●編集協力 油井亮太郎

●発行 カナカナ書房

（カナカナ書房は、“自称”電書のインディーレーベルです）

# カナカナ書房ロゴ

---

